

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 石垣・埋蔵文化財部会（第52回）
終了後の、宮武正登・佐賀大学教授と、江上ひろゆき名古屋市議との対話（一部）
名古屋市民オンブズマンによる文字起こし

江上：江戸時代からのものがここに残ってる

宮武：はい

江上：穴蔵石垣をどうするかという、あらためて今までは結構今のお城作るときに動かしたのではないと言われてましたけど、ちょっと残ってるということが、その残し方をどうするかということも含めてもっと検討しないといけないという問題なんですね。

宮武：うんこれはもう去年の12月ぐらいには判明してたことですから。ええ。
だからもう別に石垣部会としては残ってるかもしれませんがよっていうことを言ってきてたんで、ほら残ってたでしょっていうそれだけの話ですよ。それでどうこうということではない。

江上：それが残っているということになると、どういう形で残していくかということも、判断をします。こういう問題ですね。

宮武：残し方でしょうね。
保存して今抱えておられる諸事業についてのすり合わせをどう果たすのだろうか。まあ単純な話だと思うんですけど。

江上：進めようとする人はそう簡単ではない

宮武：全部全部丸裸にすることができれば一番いいんでしょうけど、なかなか

江上：ありがとうございます。今度またちょっと議会で、あるもんですから、所管事務調査12月の5日でしたっけ。

宮武：大変喜ばしいことだと思いますよ。文化財や歴史遺産が残っていることが。それをどう生かしていくか

江上：そうですね。

全部どさくさでどうなっちゃったかという感じがありましたけど。わかりました。